

平成 28 年度日本認知症ケア学会・読売認知症ケア賞「功労賞」



松 下 正 明（まつした まさあき）

1937 年 11 月 5 日生まれ

【授賞理由】

認知症疾患の臨床において 30 年余にわたり蓄積された知識と経験は、認知症の人とその家族を支えるとともに行政政策に臨床的な現場感覚を反映させる布石の役目を果たしました。今なお臨床の最前線で活動する姿は、後に続く研究者の道に光をもたらす存在といえます。

【略歴】

1962 年 3 月	東京大学医学部医学科卒業
1963 年 4 月～1966 年 8 月	東京大学医学部精神神経科
1966 年 9 月～1973 年 6 月	都立松沢病院
1973 年 7 月～1986 年 5 月	東京都精神医学総合研究所（副参事研究員）
1986 年 6 月～1990 年 5 月	横浜市立大学（教授）
1990 年 6 月～1998 年 3 月	東京大学医学部（教授）
1998 年 4 月～	東京大学名誉教授
1998 年 4 月～2006 年 3 月	東京都精神医学総合研究所（所長）
2001 年 4 月～2006 年 3 月	東京都立松沢病院（院長）
2009 年 4 月～2015 年 3 月	東京都健康長寿医療センター（理事長）

【褒賞】

瑞宝中綬章（2008）

【業績および活動内容】

1963 年から精神科医としての臨床活動を行っている。1966 年から 1986 年にかけて神経病理学者として、認知症脳・脳器質性疾患脳・統合失調症など精神病脳の臨床・病理学的研究活動を行った。1968 年からは老年精神科医として、特に認知症性疾患の臨床活動をしている。

1986 年から 1998 年にかけて教育者としての大学生、院生への教育指導を行い 1995～1997 年、1998～2006 年には病院長・研究所長として、管理業務に関わり種々の学会活動に従事した。日本神経病理学会、日本老年精神医学会、日本司法精神医学会、日本精神医学史学会の理事長を務め、特に日本老年精神医学会の創立に関わり、日本司法精神医学会、日本精神医学史学会では創立を主導した。2009 年より 2015 年まで、東京都健康長寿医療センター理事長として、認知症の外来診療を行いながら、高齢者医療や研究の指導にあたった。